

日独交流160周年

千住真理子

ヴァイオリン・リサイタル

MARIKO SENJU VIOLIN RECITAL 2021



Program

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より第5楽章
シャコンヌ

J.S.バッハ：G線上のアリア

J.S.バッハ：アリオーソ

J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ

ベートーヴェン：アダージョ・カンタービレ～「悲愴ソナタ」より

ベートーヴェン：ロマンス 第2番

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調「雨の歌」作品78

ブラームス：ハンガリー舞曲 第1番

信頼を寄せる最高のパートナー丸山滋とともに
究極のヴァイオリンが奏でる
ドイツの3B名曲選！

※クラシック初心者の方でも楽しめる
トーク付きのコンサートです。

千住真理子（ヴァイオリン）

©Kiyotaka Saito (SCOPE)

丸山滋（ピアノ）



©bmb

2021年

6月13日日 14:00開演
[13:00開場]

福岡シンフォニーホール（アクロス福岡）

S席 5,500円/A席 4,500円 (税込)

- アクロス福岡チケットセンター 092-725-9112
- ヨランダオフィス・チケットセンター 0570-033-337 (ナビダイヤル)
092-406-1771
- チケットぴあ 0570-02-9999 [コード 191-024]
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> [コード 82265]

お問い合わせ＆お申し込み：

エムアンドエム 092-751-8257

(平日10:00～18:00)

主催：RKB毎日放送／エムアンドエム／ヨランダオフィス

共催：(公財)アクロス福岡

後援：福岡市／(公財)福岡市文化芸術振興財団

※未就学児の入場はご遠慮ください。※止むを得ない事情により曲目・曲順が変更となる場合がございます。
※車椅子をご来場されるお客様は、ご購入前に必ずエムアンドエムまでお問い合わせください。

チケット
発売日
2021年
2/28(日)
10:00～



アクロス福岡
ACROS Fukuoka

託児サービスあり（生後4ヶ月から小学校入学前の子様対象）

ご希望の方は、チケットご購入後、下記にお申し込みください。

(株)テノ.サポート ☎ 0120-8000-29 電話 092-263-3580 (月～金 9:00～18:00)

託児料の一部としてお子様1人につき1,000円をご負担頂きます。

2020年にデビュー45周年を迎えるストラディヴァリウスの中でも最高傑作のひとつ
「デュランティ」との運命的な出会いから約20年。

「私のすべてをヴァイオリンに捧げているー」 その魂の演奏が胸を震わせる。



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

千住 真理子 〈ヴァイオリン〉 MARIKO SENJU, VIOLIN

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共に12歳でデビュー。

日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。

2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。

2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.1」をリリース。

2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」(完全版)を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://www.marikosenju.com/>

丸山 滋 〈ピアノ〉 SHIGERU MARUYAMA, PIANO

東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクロイツァー賞を受賞。植田克己氏に師事。

1992年よりドイツ学術交流会(DAAD)の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。

ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。

1994年、ハンス・ブフィッサー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。その後若い演奏家たちと様々な国際的経験を積んだ後、1995年に活動の場を日本に移す。

帰国後はソプラノの鯫島有美子、テノールの吉田浩之、ヴァイオリンの千住真理子ら多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、全国各地でのリサイタルやCD、DVD、放送など様々な機会で盛んな共演を続けています。

1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。同年、日本演奏連盟主催「演連コンサート93」として東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以降ソロ、室内楽、歌曲とピアノが関わる幅広い分野での活発な活動を行っている。

2014年、札幌コンサートホールKitaraでの「丸山滋ピアノリサイタル～死への追憶・生への讃歌」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。東京藝術大学において室内楽科非常勤講師を務めた後、現在同大学声楽科およびピアノ科非常勤講師。